

うりずんの想い

私たちの住む地域のどこかで、
 重い障がいを抱えた子どもたち
 24時間その子どもを介護している家族が暮らしています。
 うりずんは、子どもたちが友だちと楽しく遊び、
 両親は介護から離れひと休みできる場所です。
 障がいを持った子どもと家族が
 「普通」に暮らすことができる社会を目指しています。



ご卒園おめでとう！ はりゆん卒園式



もうすぐ1年生！

3月13日(金)に児童発達支援はりゆんの卒園式が行われました。今年度の卒園生は9名。卒園式には8名が参加し、残念ながら参加できなかった卒園生と保護者のうちわをお席へ飾らせていただきました。(うちわは他の卒園生の保護者が作って来てくださいました。)

会場は卒園生9名を表すように、虹のようなカラフルな装飾でお出迎え。入場する前は緊張している様子の卒園生でしたが、凛々しい表情で入場する姿や真剣な表情で座っている姿、卒園証書を受け取った姿はとてまっかよかったです。式を終え、退場したあとは少しホッとしたような表情もみられ、可愛らしかったです。

スライドショーでは小さい頃の写真やイベント時の写真、日々のご利用時の写真が流れ、たくさんの思い出を振り返りました。保護者の皆様からのお話もあり、会場全体が卒園生の成長を感じ、心温かくなりました。

保護者の皆様には、今までたくさんのご理解とご協力をいただき、心から感謝申し上げます。卒園生9名と過ごした時間は、大切な宝物です。卒園後も、笑顔いっぱい楽しく過ごせることを願っています。ご卒園おめでとうございます。

(藍葉 桃子)



風薫る季節となりました いつもご支援ありがとうございます

令和8年4月



認定特定非営利活動法人うりずん
理事長 高橋昭彦

経営者部会 in 沖縄♡

2月23日(月)～25日(水)、沖縄のKukuru(くる) 鈴木恵さんのお誘いで、医療的ケア児者に関わる経営者が沖縄へ。Kukuru+(くるプラス)は、沖縄県立こども医療センターのすぐ前にある鉄筋コンクリート3階建てのハブ拠点です。訪問看護、居宅介護、訪問診療、医療型短期入所、県内の医療的ケア関係の研修、旅行支援などを行っています。

ブレインストーミングの翌日に訪れたのは、沖縄本島北部のやんばる地域。人も限られ、利用者も限られるなか、就労継続支援B型として養蜂や畑作を行い、ハチミツの瓶詰めを行う傍らに日中一時支援で医療

的ケア児を預かるベッドがあり、相談支援も行う「ふくらしゃ」がありました。その夜はふくらしゃの人達も一緒に「ちちぬうーじ」という宿に集まりました。やんばるの人たちのあたたかさを感じ、また頑張ろうと勇気をいただきました。



象の鼻(沖縄西海岸 万座毛)



経営者部会 in 沖縄: 左から大久保夏樹さん、高木憲司さん、伊藤佳世子さん、下川和洋さん、鈴木恵さん、高橋



沖縄本島やんばるの方々と語り

鎌倉に行ってきました

3月7日(土)、鎌倉で在宅医療を担う長谷川太郎さんのお声掛けで、午前中は下村幸子監督の「人生をしまう時間(とき)」の上映会、午後は「医療的ケアを必要とする子どもや家族が安心して生活を継続するための講演会」に参加しました。人生をしまうとき、人は、家族は、何を望むのか、心にしみた映画でした。

午後の講演会では、鎌倉市役所の矢部哲也さんから避難行動要支援についてのお話。障害者の災害や避難の研究を行う白神晃子さんは、災害はいつでも起こりえるので備えが大切で、まずは避難の練習から始めること。そこに関わるのは、専門職ではなく、自治会など近隣の人、つまり近くに住む人に、このお子さんが居ることを知ってもらうことが大切と述べました。

私は、医療的ケア児と家族と出会い、教わったことをお話しました。懇親会は夜中まで続き、皆さんと楽しく歌い、語りました。



左から古屋聡さん、白神晃子さん、高橋 (All for Kamakura 講演会)

栃木県委託事業くくるん主催「医療的ケア児等支援に関わる多職種交流会」を実施しました

3月4日(水)、県東地区にある真岡市公民館西分館を会場に地域の医療的ケア児支援に携わる関係職種との「顔の見える連携」を促進し、地域における支援ネットワークの構築に繋げていくことを目標に開催しました。各地域から約70名の方が参加されました。

1部「それぞれの立場での医療的ケア児支援の実際」として「訪問診療医の立場から」高橋昭彦センター長、「訪問看護師の立場から」Ui訪問看護ステーション西真岡管理者看護師若林里枝さん、「医療的ケア児等コーディネーターの立場から」ハートフルいちかい相談支援専門員 医療的ケア児等コーディネーター北井孝文さん、「保育園の園長の立場から」芳賀町立祖母井保育園園長土屋歩さん、看護師飯田さち子さん、「学校教育の立場から」真岡東小学校学校看護師芝野あすかさんが登壇され皆様から支援の取り組みや課題、貴重な事例紹介等をお話いただきました。

2部のグループワークでは皆さんの医療的ケア児支援に対する熱い思いや悩みを語り、時間が足りないほど熱気あふれる交流会になりました。(栃木県医療的ケア児等支援センターくくるん 渡辺みゆき)



真剣に講話を聞く参加者の皆様たち

たくさんのお友達と雪を楽しもう ❄️



スクリーンに映るお友達に“こんにちは!”



北海道からきた雪だるまさん

2月13日(金)、今年もそらぶちキッズキャンプさんより、北海道の真っ白い新雪が届きました。今年はずりずん周辺でも何度か雪が降りましたが、北海道の雪はさらさらでキラキラ!

イベントではそらぶちキッズキャンプさんの他にも岡山県や茨城県、岐阜県のお友達とリモートで繋がるのが出来ました。大きなスクリーンに映る北海道の雄大で幻想的な景色を堪能し、時折スクリーンに映る他のお友達に笑顔で手を降ったりクイズに参加したり

(小島 麻紀)

笑顔いっぱい! うちやれば冬の大運動会

2月22日(日)冬晴れの空の下、「うちやれば冬の大運動会」を開催し、たくさんのきょうだいさんたちが集まってくれました。

選手宣誓から始まり、玉入れや綱引き、お玉リレーなど様々なプログラムに挑戦しました。芝生の庭には笑い声が広がり、子どもも大人も一緒になって体を動かして大盛り上がりなひとときでした。運動会の後はアイスを食べながら自己紹介。普段はなかなか出会う機会の少ないきょうだいさん同士も一緒に楽しむ中で自然と打ち解け、交流を深める温かなひとときとなりました。



お玉リレー、がんばるぞ!



運動会、楽しかったね

これからもきょうだいさんが楽しんでもらえる場を大切にしていきたいです。(うちやればちょ〜で〜会※ 須藤 裕美)

※ ずりずんのきょうだい支援を考える会



うりずん日記

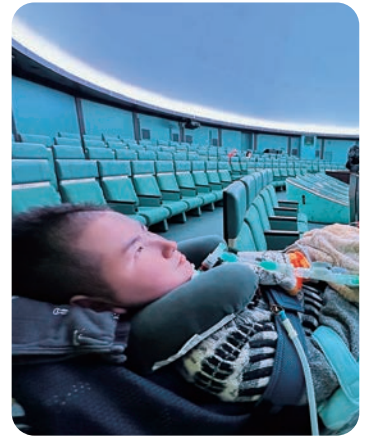
新幹線に乗ってプラネタリア TOKYO へ！



新幹線に乗ります！



東京駅に到着！ちょっと寒かったね！



癒し空間にリラックス♪

重度訪問介護を利用し有楽町にある『プラネタリア TOKYO』へお出かけしました。

どこへ行くか、どうやって行くか、バギーで不安な箇所はないか、など支援の中で一緒に計画しました。

新幹線乗車時は駅員さんがホームと車両の隙間にスロープをつけてくれるのでバギーや車椅子でも安心して乗り降り出来ます。東京駅丸の内南口には車椅子待合所*がある事も親切に教えていただきました。

予定通りプラネタリアに到着。最新技術による高精細な映像で、この日の上映作品「星結いの森 ～沖縄・国頭

村の星空～」を楽しみました。

外出は様々な難しい面(バリア)に遭遇する事もありますが。バリアを一緒にクリアしていく事で、新たな発見や気づきが沢山あります。これからも色々な事に一緒にチャレンジしていきましょうね。(上田 恵)

※新幹線など利用時にスムーズに移動でき、駅員さんによるサポートも受けることができます。混雑する駅構内で安心して待機できる場所です。

スカイブルーのバスに乗ってお出かけ



動画撮影の様子



バスに乗ります



プラネタリウムを見てきました！

3月17日(火)、コジマ子どもサイエンスパークに行ってきました。今回の遠足は、はやぶさ交通さんから、「会社のHPにリフト付き大型バスへのバギー等乗車の様子を掲載したい、その動画撮影にご協力いただけませんか？」というお声かけがあり、撮影協力いただくご利用様(放デイで小中高校を卒業された5名の卒業生)を、遠足に連れて行っていただくという流れで実現しました。

サイエンスパークに到着し、停車するとバスの前を通った男の子が振り向いて「カッコいい！」と。当日の空のような真っ青な車体のカッコいいバスです。そのバスのリフトに乗り、まるでアトラクションを体験して

いるようにはしゃいでいるご利用者さんの顔が忘れられません。

受付を過ぎ、いよいよエレベーターへ。宇宙をイメージしたかのようなエレベーターで、うまく乗車できるか…心配でしたが、無事乗る事が出来、2階のプラネタリウムへ。暗いドームに入り、ちょっとドキドキでしたが、星空が現れるとパッと表情が明るくなり楽しそうな姿が見られました。少し眠くなったお友だちもいましたが、楽しいプラネタリウムで経験値が一つ上がりました。

快晴の春らしい陽気の中、ゆったりとした一日になりました。バスを運行して下さったはやぶさ交通さんありがとうございました。(秋谷美千子)

<<<各事業稼働状況 >>>

(2026年3月31日現在)

日中一時支援事業

●現在の登録状況…………… 60名

●2026年1月～3月のご利用状況 (人)

1月	2月	3月	合計
129	127	129	385

* いずれも延べご利用人数です

居宅介護事業

●現在の登録状況…………… 32名

移動支援事業

●現在の登録状況…………… 19名

重度訪問介護事業

●現在の登録状況…………… 3名

相談支援事業

●現在の登録状況…………… 24名

児童発達支援・放課後等デイサービス事業

●2026年1月～3月のご利用状況 (人)

	1月	2月	3月	合計
児童発達支援	108	89	108	305
放課後等デイサービス	116	102	122	340

●現在の登録状況

◆児童発達支援…………… 16名

◆放課後等デイサービス …… 33名

* いずれも延べご利用人数です

見学・ボランティア等ご来所者数

●2026年1月～3月のご利用状況 (人)

	1月	2月	3月	合計
見学者	4	8	4	16
ボランティア	1	3	1	5
計	5	11	5	21

※ 詳細につきましては、認定NPO法人うりずんHP「事業所案内 活動報告」をご参照ください。

うりずんの仲間たち

♪ご家族に伺いました♪

名前：手塚^{そら}奏来さん

ニックネーム：

そーちゃん

学年・年齢：4歳

好きなこと：

歌うこと、踊ること、遊ぶこと

嫌いなこと：

お薬を飲むこと(笑)、冷えピタを貼ること

うりずんってどんなところ？：お買い物に行ったりして生活に必要なことを経験させてくれたり、四季を通してその季節を感じることができるよう体験をさせてくれたりしてくれるところだなあと感じます！いろいろなイベントも開催していただき、本人だけではなく家族全員で楽しませてもらっています！

メッセージ：奏来が毎回楽しく通えているのは先生方やお友達のおかげです！ありがとうございます！



名前：泉^{みゆ}心結さん

ニックネーム：

みゆちゃん、みーちゃん

学年・年齢：

中学2年、14歳

好きなこと：人の失敗、朝の会、夕の会、ピアノを弾くこと

嫌いなこと：

1人でお泊り

うりずんってどんなところ？：

毎日行きたい大好きな場所、親が安心して子供を預けられる場所

メッセージ：子供達の成長を一緒に見守っていただき、日々感謝しております。本人も妹達もうりずんが大好き。これからも、親子共々よろしくお願いします。



想いを秘める、桜の色は…

KOMEY

桜の色は、愛の象徴

誰かを思えば思うほど

色づく心は花びらと共に

あふれる気持ちが咲き誇る

咲いた花はいつか散るもの

けれど、心に咲いたこの花は

決して散ることなんてない

そう思っている自分があるんだ

君の隣を歩む日々にて

そんなことを思っただけでも

僕は絶対口にはしない

もしも言葉にしてしまったら

僕の想いも共に散ってゆく

そんな気がして仕方ないから

僕はそっと胸に秘めるんだ

うりずん応援団コーナー

NPO法人うりずん寄付者名簿 (敬称略)

令和8年1月1日～3月31日(到着分)

ご寄付 1,668,743 円をいただきました。ご支援ありがとうございました。

■ 一般寄付者 114名 (うち匿名21名)

岩手県 二戸郡 田中 恭子	宇都宮市 佐久間豊子	日光市 大嶋 洋子	下野市 小島 好子	中野区 唐澤 剛	滋賀県 米原市 小椋 一司
栃木県 宇都宮市 相羽 典子	倭文 一彦	医療法人 社団志幸会 木村内科医院	栃木市 阿部 道子	中村 洋一	山梨県 甲府市 内藤いつみ
安藤 保	柴崎 淳子		足利市	港区 酒井三貴子	奈良県 橿原市 加藤 久和
市原 征洋	助名 善夫	塩澤 延江	あしかがの森 足利 病院	国分寺市 都留 健司	大阪府 箕面市 折田みどり
入江久美子	鈴木 勇二	大門 泰子	大谷 弥生	小平市 小坂美津子	池田市 高橋 昭夫
岩井 俊宗	五月女夏巳	田中 敏子	高根沢町 佐藤 正行	府中市 麻生千恵美	愛知県 東海市 大瀧 潮
子育て支援研究セン ター Tiny	高橋由紀子	長谷川興賢	群馬県 高崎市 菅野 圭一	小沢 浩	佐賀県 小城市 大野 真如
宇都宮協立診療所	武井 大	日原 拓美	埼玉県 川口市 齋藤 喜作	千葉県 市川市 金屋 友子	その他 うりずん応援団募金箱
大柿 聡久	田村 雅子	山口健太郎	埼玉県 川口市 齋藤 喜作	神奈川県 横須賀市 荒井 泰夫	
小野 健市	床井 忠夫	檜山医院	高橋 潤	横須賀市 荒井 泰夫	
粕田 晴之	橋本 正行	福田 雅章	川越市 森脇 浩一	横須賀市 志保田俊男	
金子 徳代	服部 恭典	大田原市 渡邊 学	さいたま市 渡邊 誠	横浜市 志保田俊男	
椋山 智貴	船瀬 安子	那須塩原市 高根澤 孝	本庄市 坂本喜久枝	横浜市 志保田俊男	
川中子武保	増淵 祥兵	那須烏山市 小島 幸男	和光市 坂内 博子	永田 幸雄	
黒崎 ヒロ	御子貝荒江	真岡市 大瀧 和弘	東京都 葛飾区 佐藤イマーン	岐阜県 大垣市 土屋 邦洋	
駒場 哲子	武藤 高茂	本多 正徳	新宿区 佐藤 好美	高知県 香美市 五十嵐 晃	
	柳澤 邦夫	下野市	新都区 佐藤 好美		
	築瀬 静江	医療法人 おかべこ どもクリニック	墨田区 林 亜由美		
	渡邊 孝夫		港区 酒井三貴子		
			永澤 直子		
			府中市 麻生千恵美		
			群馬県 高崎市 菅野 圭一		
			神奈川県 川崎市 小竿 順子		
			山梨県 中巨摩郡 医療法人社団健輝会		

■ 個人賛助会員 46名入会 (うち匿名5名)

栃木県 宇都宮市 池本喜代正	宇都宮市 武井 大	下野市 安田りえ子	新宿区 佐藤 好美	横須賀市 荒井 泰夫	奈良県 橿原市 加藤 久和
大柿 聡久	田村 雅子	足利市 大谷 弥生	墨田区 林 亜由美	横浜市 志保田俊男	高知県 香美市 五十嵐 晃
粕田 晴之	床井 忠夫	上三川町 野沢貴美子	港区 酒井三貴子	城本 直美	山梨県 甲府市 内藤いつみ
下泉 秀夫	橋本 紀子	高根沢町 佐藤 正行	永澤 直子	山梨県 甲府市 内藤いつみ	長崎県 西彼杵郡 下村千枝子
助名 善夫	橋本 正行	埼玉県 和光市 坂内 博子	府中市 麻生千恵美	石川県 金沢市 上瀧 大	宮崎県 日南市 池田 輔昭
鈴木 勇二	村田 裕子	東京都 大田区 荒木 光子	群馬県 高崎市 菅野 圭一	岐阜県 大垣市 土屋 邦洋	
須藤 勝則	渡邊 孝夫	葛飾区 石井 昭代	神奈川県 川崎市 小竿 順子		
高橋由紀子	鹿沼市 金子 亜子				
	下野市 田邊 陽子				

■ 団体賛助会員 7団体

宇都宮市 宇都宮協立診療所	栃木県	佐野市 医療法人 柳川小児科医院
医療法人 心和我 ししど内科胃腸科クリニック		壬生町 あかりこどもクリニック
税理士法人 TOC 英和		山梨県
鹿沼市 (有)つくも薬局		中巨摩郡 医療法人社団健輝会 げんきキッズクリニック



ご寄贈ありがとうございました。

多くの方々から寄贈品をいただきました。誌面の都合により、すべての寄贈品を掲載できず、申し訳ございません。

心より御礼申し上げます。



増淵様



大塚様



上野様

うりずん応援団に参加しませんか？

「うりずん応援団」はうりずんに関わる全ての方々（利用者様、ご家族様、ボランティアさん、関係機関の皆様、ご支援者や協賛企業の皆様、そしてスタッフ等）が会員となり、共にうりずんを応援していこうという活動です。

うりずん応援団 協賛企業会員

Special会員

食と健康のプロ集団
K.K. 日本栄養給食協会 Diet

SUZUKEN
有限会社鈴建

マロニエ交通

栃木県民共済

やっばり
株式会社共栄

ものがたりを乗せて。
はやぶさ交通

BRIDGESTONE
あなたと、つぎの景色へ
ブリヂストンタイヤ栃木販売株式会社

Regular会員

— あなたのキャリアにエールを —
KEEP CARRIER キープキャリエール®

アーバンエルシー

至誠法律事務所

OKAMOTO KODOMO OTONA Dental Clinic
おかもとこどもおとな歯科

くらしをつくり、ひとをつくる Panasonic Homes
パナソニックホームズ北関東株式会社

おおるりファミリークリニック MARUKI 株式会社マルキ産業

Friend会員

あんどうこどもクリニック

NOMURA
野村証券株式会社宇都宮支店

うりずん応援団寄付のお願い

うりずんは、活動の趣旨に賛同し、寄付や会費、ボランティア等でご支援くださる個人や団体、企業を「うりずん応援団」と名づけ、支援者の輪を広げています。一人でも多くの子どもと家族を笑顔にするためにぜひ、「うりずん応援団」にご参加くださいますよう、お願い申し上げます。

○うりずん応援団

継続的にご支援をいただける方は、年会費（定額）による支援をお願いします。

《賛助会員》

- 個人 3,000円
- 団体 10,000円（寄付扱いとなります）

《協賛企業会員》

- Premium 1□ 50万円
- Special 1□ 20万円
- Regular 1□ 10万円
- Friend 1□ 5万円

《一般寄付》（金額は任意で設定いただけます）



【各種振込先のご案内】

振込みは、ゆうちょ銀行の専用口座へお願いします。（誠に恐縮ですが、手数料は別途ご負担をお願いします）

<ゆうちょ銀行からのお振込み>

- 口座番号：00110-4-441471
- 口座名：特定非営利活動法人 うりずん

<ゆうちょ銀行以外からのお振込み>

- 〇一九店（ゼロイチキュー店）
- 当座：0441471



【オンライン寄付】

うりずんのホームページ（<http://www.npourizn.org/>）からもご寄付と賛助会員のオンライン決済ができます。

【寄付金額の最大 50%が税金から戻ってきます！】

「うりずん」は「認定NPO法人」のため、うりずんへの寄付には確定申告の際、税制上の優遇措置が受けられます。

●●新しいスタッフの紹介●●



足立裕美

♥4月より入職いたしました。足立裕美と申します。1日1日を大切に、ご利用者様一人ひとりに寄り添いながら、安心して過ごして

いただけるよう努力してまいります。至らない点もあるかと思いますが、よろしく願いいたします。【看護師】



渡辺 希

♥4月に入職しました看護師の渡辺希です。ご利用者様と過ごす時間の中で、私自身も元気をいただいております。これから皆

様と楽しく過ごせるよう頑張っていきたいと思っております。よろしく願いいたします。【看護師】



中田幸子

♥4月に入職しました。中田です。ブランクもあり、緊張でドキドキの私でしたが、皆様の温かなお声かけとご利用者様の笑顔に勇気を

いただき、一歩ずつ歩みを進めています。笑顔あふれる楽しい時間をともに過ごしていきたいです。【看護師】

令和 7(2025) 年度「栃木県小児在宅医療体制構築事業」研修報告

今年度も栃木県より小児在宅医療体制構築事業を受託し研修会等を行いました。

昨年度末に行われた「小児在宅医療体制構築事業の充実を図るための検討会」で検討された研修内容案に沿って、今回で第9回目となる小児在宅医療実技講習会に加え、昨年度より実技等の習得の支援に特化した小児在宅医療実技講習会のアドバンス編が加わり、小児在宅医療実務研修会(2回)を合わせて、計4回の研修会が開催されました。

対面集合形式で研修会・講習会3回の開催に加え、オンラインでの研修会(実務研修会①2025/8/24(日)開催)では、「困っていませんか? 災害時の緊急連絡～制度の理解と災害時の連絡体制を考える～」(講師:立正大学社会福祉学部 白神晃子さん)と題してご講義を

いただき、受講者の関わりのある事例を通し、それぞれに必要な連絡先を挙げてどのようにつながると良いのかなどの演習も行いました。

また、第9回目となる小児在宅医療実技講習会(於:自治医科大学 2026/1/18(日)開催)では、午前の講義153名、午後の実技講習は73名の方に受講いただき、人工呼吸器管理と在宅酸素療法・気管切開・気管カニューレ管理・胃ろうの管理に加えて、ポジショニングと呼吸リハビリテーション療法についての御講義をいただきました。申し込み多数のため、午後の実技講習は初めて受講される方を優先させていただく形となりました。

ご参加をいただきました皆様、ありがとうございました。(金澤 知子)



2025.7.6(日) 小児在宅医療実技研修会 ～アドバンス編～
効果的な口腔ケアの実際、摂食嚥下リハビリテーションの実際他 実習の様子
昭和医科大学歯学部口腔衛生学講座 教授 弘中祥司さん
えづら歯科クリニック 院長江面陽子さん、佐川歯科医院 院長佐川敬一朗さん

2026.1.18(日)
第9回小児在宅医療実技講習会実技講習の様子(胃ろう交換の実技)



2026.1.18(日)
第9回小児在宅医療実技講習会実技講習の様子(ポジショニングと呼吸リハビリテーション療法)



2026.3.3(火)
小児在宅医療体制構築事業の充実を図るための検討会の様子

●本年度の栃木県小児在宅医療体制構築事業の実施報告は以下の通りです。

令和 7(2025) 年度 栃木県小児在宅医療体制構築事業

小児在宅医療実務研修会①	2025/8/24(日) 参加者 42名
小児在宅医療実務研修会②	2025/10/19(日) 参加者 49名
第8回小児在宅医療実技講習会	2026/1/18(日) 参加者 153名
小児在宅医療実技講習会 ～アドバンス編～	2025/7/6(日) 参加者 43名
医師向け訪問診療同行研修	随時受入れ 3件
小児在宅医療に関わる医師等を対象とした相談支援事業	随時 19件
小児在宅医療体制構築事業の充実を図るための検討会	2026/3/3(火)

編集後記

あつという間の1年、昨年たくさん笑顔と多くの出会いがありました。改めて多くの方に支えられて「今」があることを身にしみて感じております。いつも元気に楽しく、今年もお待ちいただけるような通信をお届けしたいと思っております。今後ともよろしくお願いたします。
渡部 邦彦



うりずん通信・テレマカシ

第 57 号 2026年 4月 30日 発行

<https://www.npourizn.org/>



《編集・発行》 認定特定非営利活動法人 うりずん
〒321-2116 栃木県宇都宮市徳次郎町365-1
TEL: 028-601-7733(代) FAX: 028-665-7744(代)
Mail: urizn@hibari-clinic.com

《デザイン・印刷》 デザインスタジオ アクセス